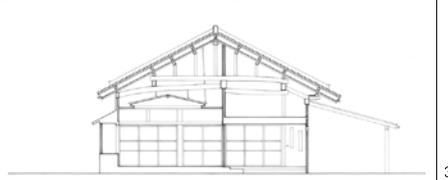
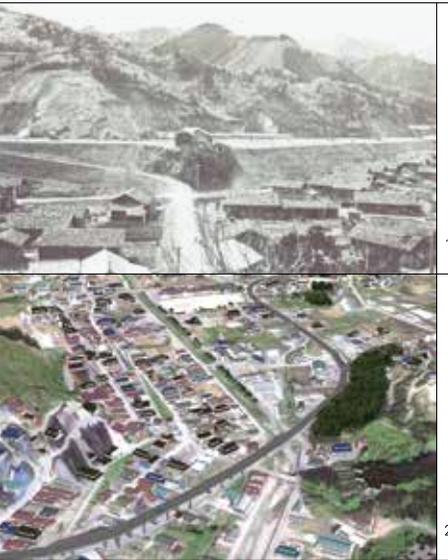


津波と復興・綾里・博 歴史・住まい館展

2016年
9月12日[月] ↓ 18日[日] 9時半 - 17時
大船渡市三陸町綾里・字港上
復興地の空家「ヤマジユウ電気隣」入場無料





津波と綾里博物館展 歴史・復興・住まい

岩手県三陸海岸に位置する綾里地区は、明治三陸大津波、昭和三陸大津波、東日本大震災の3度の大きな津波の被害を受けてきました。災害後にいち早く復興に立ち上がり、

それぞれの時代の復興を積み上げてきた地区でもあり、地区にはたくさんの方々の津波常襲地の知恵が残っています。

この地区において、地区の復興をサポートし、地区の歴史を調査してきた5つの大学のチームが、そこで得た知恵や知識を、地区の内外の方々とも共有することをめざした、

仮設の博物館を1年前に開設しました。その後に行った調査で得られた新しい情報を加えた、2回目の仮設の博物館を2016年にオープンします。

会場は綾里の「湊」地区の復興地にある、昭和の復興当時の姿を残した復興住宅です。土地と建物に刻まれた復興の知恵を実感しにきて下さい。

主な展示内容

- 1 昭和三陸大津波の復興の歴史
- 2 昭和の復興地と復興住宅
- 3 昭和時代の綾里地区の地域社会の変化
- 4 綾里地区の復興写真
- 5 東日本大震災での避難と復興のあゆみ
- 6 2010年の綾里港・岩崎

関連企画

綾里地区研究報告会

博物館での展示内容を中心に、綾里地区の研究でわかってきたことの報告会を開催します。

報告者：饗庭伸・青井哲人・池田浩敬・石榑督和・岡村健太郎・熊倉永子・村上晁信・山岸剛

場所：綾姫ホール（大船渡市三陸町綾里字平館75-2）

時間：9月17日 13時から16時まで
入場無料どなたでもご参加いただけます。

綾里むかし写真展

期間中東日本大震災以前の綾里の風景を写した写真を集めて展示します。

街並みや家、船、お祭りなど

綾里地区の昔の写真をお持ちの方は、展示期間中に会場にお持ちください。

その場で複写して展示させていただきます。

- 1 昭和三陸大津波からの復興。奥に造成中の復興地、手前に低地に建ち並んだバラック。出典：『金馬藤 岩手県三陸町 綾里地区消防百年のあゆみ』綾里地区消防百年記念事業実行委員会 1998年
- 2 2010年の綾里港・岩崎地区の景観視元
- 3 岩手県大船渡市三陸町綾里の家屋
（上）小石浜 S 邸 梁行断面図（一作図・小見山晃平
（下）白浜 K 邸 梁行断面図（一作図・門間翔大）
- 4 3回の大津波の浸水区域と復興地。
作図：明治大学建築史・建築論研究室「デザイン・中野デザイン事務所
日本建築学会建築雑誌 2013年12月号
表 2015年8月26日 岩手県大船渡市三陸町綾里港一写真・山岸剛

このプロジェクトは文部科学省科学研究費補助金「津波常襲地における50年後を見据えた津波リスク軽減方策とその伝承に関する研究」およびトヨタ財団2015年度研究助成プログラム「歴史研究者と写真家の協同による自律型地域社会の形成に向けた三陸沿岸集落アーカイブの構築の一環として行われるものです。

プロジェクトメンバー

- 池田浩敬 池田浩敬 常葉大学 防災
- 木村周平 筑波大学 文化人類学
- 饗庭伸 首都大学東京 都市計画
- 青井哲人 明治大学 都市史
- 岡村健太郎 東京大学 都市史
- 石榑督和 明治大学 都市史
- 熊倉永子 首都大学東京 建築環境
- 佐藤翔輔 東北大学 アーカイブ（記録の保存活用学）
- 村上晁信 筑波大学 都市環境
- 山岸剛 写真家
- 伊藤晁 建築家
- 中野豪雄 グラフィックデザイナー
- 常葉大学池田ゼミ
- 明治大学青井研究室
- 首都大学東京饗庭研究室

会場
大船渡市三陸町綾里 港70-13
復興地の空家（ヤマジユウ電気となり）

交通案内



- 東北新幹線一ノ関駅から自動車で約120分
- 東北新幹線水沢江刺駅から自動車で約90分



- 三陸鉄道綾里駅より徒歩10分
- JR大船渡線盛盛駅から自動車で約20分

問い合わせ先

首都大学東京 饗庭研究室
ahb@tmu.ac.jp 042-677-2359

<http://ryouri-expo.tumblr.com/>



湊・岩崎 集団移動地
7287坪 / 146戸
1934年竣工

石浜 集団移動地
1130坪 / 20戸
1934年竣工

浸水区域
明治三陸津波 | 1896
昭和三陸津波 | 1933
東日本大震災 | 2011

田浜 集団移動地
898坪 / 18戸
1934年竣工